

令和7年度 第1回 学校運営協議会 議事概要録

令和7年6月25日(水)15時45分～16時50分

ミーティングルーム

1 協議内容

(1)校長挨拶

4月に着任いたしました。地域の方に声を温かくかけていただき、ありがとうございます。1年間よろしくお願いします。

(2)委託状伝達(校長より)

(3)会長挨拶

田野倉先生が帰ってきてくれてよかったです。今年度から高橋さんが加わりました。地域の保育園等入学前の様子など小学校とのつながりという点でご意見をいただければと考えています。

(4)自己紹介

1回目なので自己紹介をお願いします。

(詳細略)

(5)令和7年度 学校経営方針説明

校長:本年度は「かしこく」を重点目標にしていく

達成のための経営理念として「笑顔 真剣な顔 誇らしい顔」この3つが達成できるような学校を作っていく。

目指す児童像として、「基礎基本」をしっかり身に着けさせたい。

また、今年度人事異動で10名教員が入れ替わった。学校の転換期であると感じている。

昨今教員のなり手がいない大きな現状がある。本校では、先生がのびやかに力を発揮してもらえるよう努めていきたい。

七中校区としては、地域の特徴である「農業」に関わることを大切に、中学校区として取り組んでいきたい。

今年度の重点として語彙の充実を図っていきたい。多くの言葉に触れて、言語化につなげたり、情操を育んでいけたりできたらと思う、具体的には、読書量が増やせたらと考える。現在、松中小は読書週間中で図書委員会が工夫して、多くの児童が図書室に来られるような企画をしてくれている。

立川市民科では、松中小の特色でもある「起業家教育プログラム」も続けてやれている。

子ども達の現在の様子として、一部の6年生が落ち着かない状況を見せる時がある。しかし、大半の6年生は、授業・委員会等では、地道に努力をしている。

問題行動をすることで自己アピールをしている面もあるか。しかし、徐々に変容があった子もいる。宿題に取り組んだり、授業に向き合えるようになったりしている子もいる。

正義が通るようにしていきたい。

6年生が卒業の前までに笑顔で満足して卒業できるようにしていきたい。

「危機管理」については、「自分の身は自分で守る力」を育んでいくことが重要であるとする。市内で先月起こった件について、児童、教職員の対応をふりかえり学んでいきたい

(質疑応答)

司会:何かご質問ありますか？

高橋:不審者対応訓練についてどれくらいやっていますか？

校長:年に1度やっています。不審者が入ったときは、「大きな荷物が届いた」を合図に用いている。子ども達は、教室でどのように対応するのかということを行っている。

高橋:どの学校も同じですか？

副校長:近年、子ども達に不安を与えないよう少しソフトになってきている傾向にある。大人の対応訓練が中心になっている。

飯島:三小の児童も怖い思いをしたと聞いている。運動会も無事にできたときいています。

大澤:読書活動についてもよい取り組みだと思う。今後の経緯も教えてください。

(6)令和7年度 年間予定

HPを基に 4月から振り返りをした。

会長:授業日数の関係で夏休みを短くしたが、そういうのは考えなくていいのか？

校長:授業日数や余剰時数よりも授業内容に未履修がないようにという教育委員会の方針です。松中小では、感染症等での臨時休業に備え12時間程度確保している。来年は8月いっぱい休ませたいと考えている。

小笠原:保護者参観のときの地域公開についてはどうか。

校長:今のところは地域の方には公開していない。防犯の面を考えていけないといけない。

高橋:保育園との交流会とかは今年できますか？

校長:音楽会など交流できればよいと考えています。双方に負担にならないように実施したい。年度末ではなく、年内にやれるとよいと考えている。

高橋:10時頃からであると参加しやすい。園歌が松中小の音楽の先生が作った。以前は、保育園に音楽クラブが来て演奏してくれたこともあった。模索していきましょう。

2 今後の予定

第2回 学校運営協議会

第3回 令和7年 9月20日(土)11時30分～

第4回 令和7年12月 5日(金) ～

第5回 令和8年 2月は次回に決定

以上